

BLEで無線接続

明光電子が通信ユニット

【横浜】明光電子（横浜市港北区、十川正明社長、045・471・2223）は、近距離無線通信規格「ブルートゥースローエナジー（BLE）」の無線通信ユニット「BLE-GATEWAY/MEIB1042」を開発した。20万

円程度で2020年中の発売を目指す。工場などで使用する水やガスの圧力など機械式アナログメーターなどから取得したデータを、モジュール経由でパソコンに接続し、通常は無線接続不可能な環境でもBLEによって通信を実現する。

最大4系統のアナログメーター測定値のログデータのグラフ化、データ保存も可能としている。

ユニットは低消費電力で広域無線が可能。「特小電力無線モジュール」ORa変調方式を採用。サーキットデザイン（長野県安曇野市）が周波数帯域429MHz帯（メガは100万）のユニットを開発。従来の周波数偏移変調（FSK）に比べて超高感度を実現した。フロアノイズよりも低い信号の復調ができる。

開発品は11日から東京ミッドタウンホール

（東京都港区）で開く「2019トロンシヨポシウム／トロンシヨ」で展示する。